

第5次綾部市総合計画（前期基本計画） 目標とする指標の進捗状況（平成24年度）

綾部市では、平成23年度から平成27年度を計画期間とする第5次綾部市総合計画を平成23年3月に策定し、「住んでよかった…ゆったりやすらぎの田園都市・綾部」を実現するための施策を実施しています。

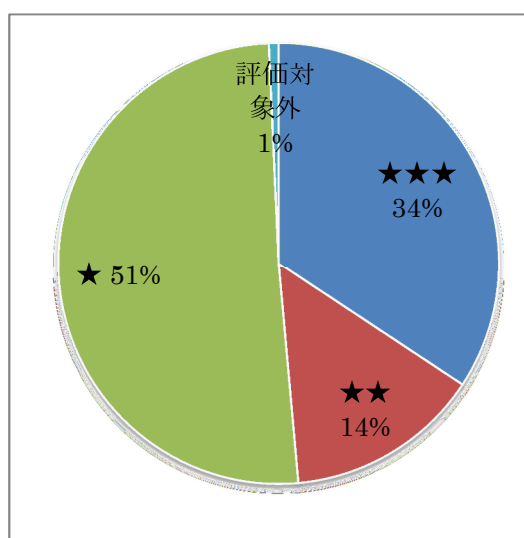
この前期基本計画の中で、施策の進捗度を客観的に測定するため、平成27年度を目標年次とする140項目の指標を定めており、今回、平成24年度末の取組結果を取りまとめましたので、お知らせします。

1. 評価の説明

評価		説明
★★★★	目標達成	実績値が目標値を達成しているもの
★★	順調に進捗	目標に向け順調に進捗しているもの
★	未達成	目標達成に向けた更なる努力が必要なもの
評価対象外		実施しなかったもの、数値が把握できないものなど

2. 目標とする指標に係る事業の取組結果

- 目標とする指標に係る事業の平成24年度における取組結果について、全140項目のうち、★★★★（目標達成）が48項目（34%）、★★（順調に進捗）が20項目（14%）、★（未達成）が71項目（51%）でした。
- 目標とする指標は、前期基本計画期間の最終年度である平成27年度に達成を目指す数値です。既に目標を達成した項目が34%にのびりました。
- 今回の平成24年度の取組結果は、5年間の計画の2年目であり、未達成の項目については、今後、目標達成に向けての更なる取組が求められます。

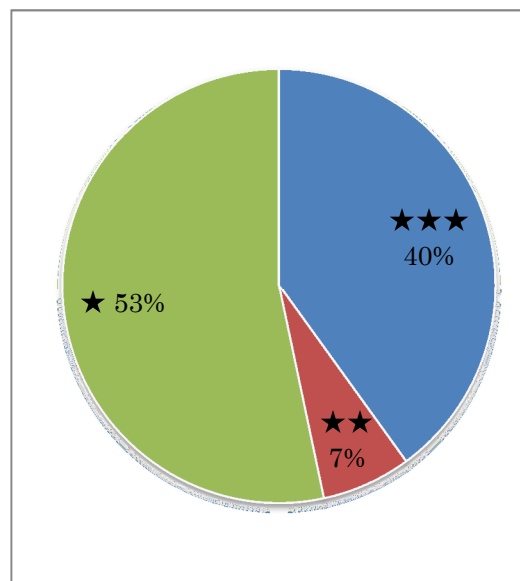


章	★★★★	★★	★	評価対象外	総計
1章	6	1	8	0	15
2章	7	5	17	0	29
3章	4	5	12	0	21
4章	10	1	14	1	26
5章	15	6	15	0	36
6章	4	1	4	0	9
計画推進	2	1	1	0	4
計	48	20	71	1	140
割合	34%	14%	51%	1%	100%

3. 各章ごとの平成24年度の実績結果

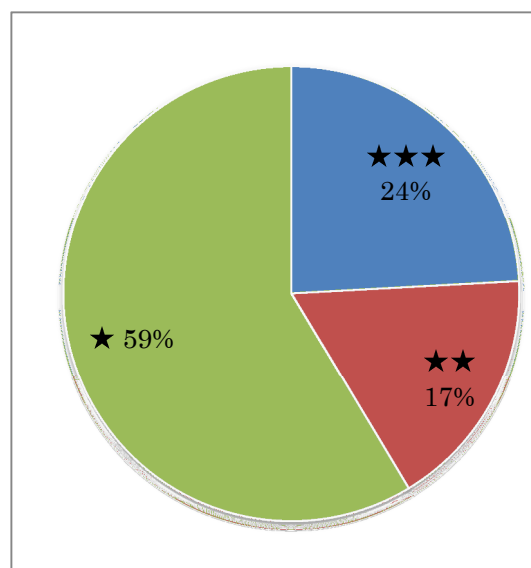
第1章 市民が輝き共に築くまちづくり

- この章では、人権尊重社会の実現、市民活動の促進、男女共同参画社会の実現、平和の発信と交流について、計画を定めています。
- 15項目のうち、47%の7項目が、目標達成もしくは、順調に進捗となりました。
- 目標を達成した指標では、人権を考えるセミナー参加者数が、1,141人となり、平成27年度の目標数値である1,000人を達成しました。
- あやべ特別市民制度登録数が、1,604人となり、目標数値の1,500人を達成しました。
- 審議会・委員会等における女性委員の比率は、30.5%となり、昨年度の27.5%より向上していますが、目標値の40%を目指した取組が必要となっています。



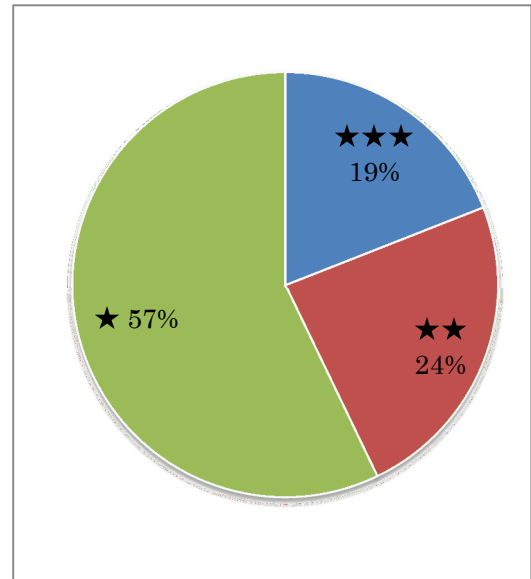
第2章 心豊かな人と文化をはぐくむまちづくり

- この章では、幼児教育の充実、学校教育の充実、社会教育の充実、青少年健全育成の推進、文化・芸術の振興、スポーツの振興について、計画を定めています。
- 29項目のうち、41%の12項目が、目標達成もしくは、順調に進捗となりました。
- 目標を達成した指標では、図書館貸出冊数が、年間164,623冊となり、目標数値の156,000冊を大きく上回りました。
- 里山サイクリング参加者数が、549人となり、目標数値の500人を達成しました。
- 中丹文化会館入場者数は、55,325人となり、目標値の60,000人を目指した取り組みが必要となっています。



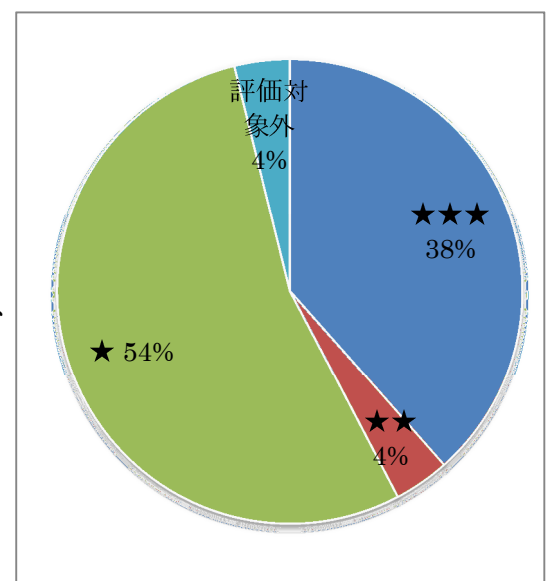
第3章 支えあい安心して暮らせるまちづくり

- この章では、子育て環境の充実、高齢者福祉の推進、障害者福祉の推進、地域福祉社会の実現、保健の推進、医療体制の充実、社会保障の適正運営について、計画を定めています。
- 21 項目のうち、43%の 9 項目が、目標達成もしくは、順調に進捗となりました。
- 目標を達成した指標では、乳幼児健康診査受診率が、97.0%となり、目標数値の 97.0%を達成しました。
- 地域密着型サービス施設数が 15 施設となり、目標の 16 施設を目指して順調に進捗しています。
- 老人福祉センター清山荘入館者数は、24,723 人となり、目標数値の 27,000 人を目指した取組が必要となっています。



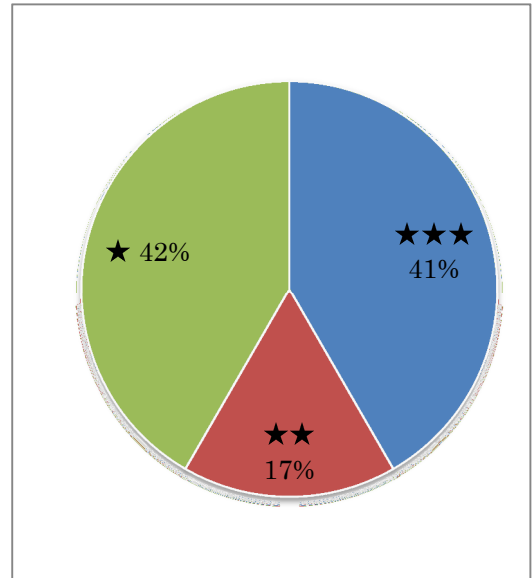
第4章 豊かさとにぎわいを生み出すまちづくり

- この章では、農林業・内水面漁業の振興、農村の活性化、商業の振興、工業の振興、観光交流の推進、地元雇用の確保について、計画を定めています。
- 26 項目のうち、42%の 11 項目が、目標達成もしくは、順調に進捗となりました。
- 目標を達成した指標では、有害鳥獣被害面積が、年間 2,202a となり、目標数値の 6,708a を大幅に下回りました。
- 北部産業技術支援センター機械貸付件数は、339 件となり、目標の 250 件を上回っています。
- 就職フェア参加者数は、85 人となり、目標数値の 200 人を目指した取組が必要となっています。



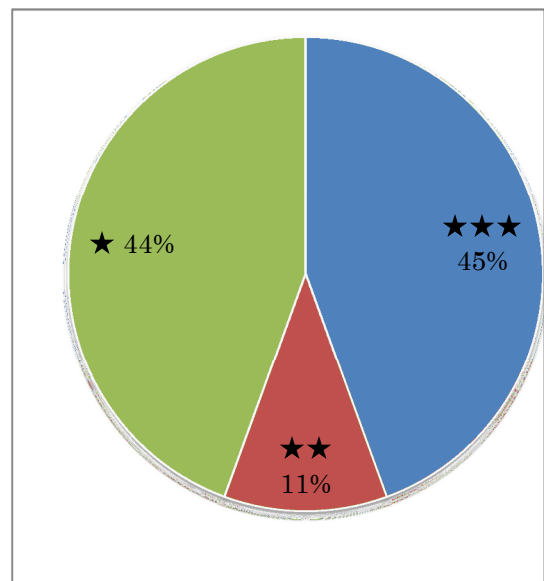
第5章 自然豊かで安全なまちづくり

- この章では、環境の保全と創造、廃棄物対策の推進、上水道の安定供給、下水道の整備促進、防災対策の推進、消防・救急体制の充実、生活の安全性の向上について、計画を定めています。
- 36 項目のうち、58%の 21 項目が、目標達成もしくは、順調に進捗となりました。
- 目標を達成した指標では、水道普及率が、97.5%となり、目標数値の 97.5%を達成しました。
- 水洗化人口は、24,744 人となり、目標数値の 26,100 人を目指して進捗しています。
- 資源物（紙類）回収量は 1,369 t となり、目標の 1,500 t を目指した取組が必要となっています。



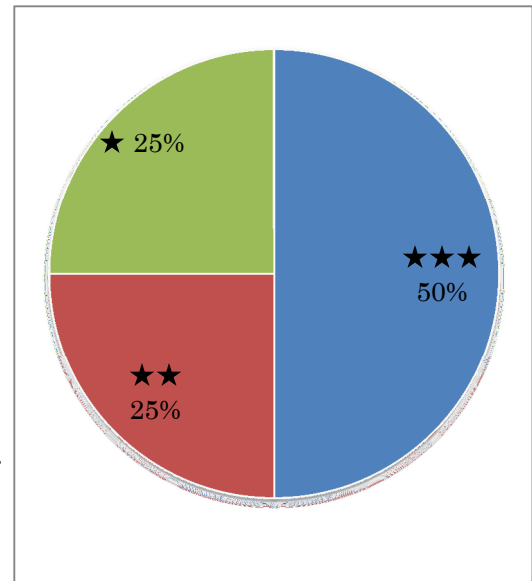
第6章 快適で誰もが住みよいまちづくり

- この章では、土地利用と市街地の形成、住環境の整備、道路の整備、公共交通の充実、公園・緑地空間の充実、斎場・墓地の適正管理、地域情報化の推進について、計画を定めています。
- 9 項目のうち、56%の 5 項目が、目標達成もしくは、順調に進捗となりました。
- 目標を達成した指標では、鉄道利用通学費補助金利用者数が 62 人となり、目標数値の 50 人を達成しました。
- あやバス乗車人数が、227,494 人となり、目標数値の 245,000 人を目指した取組が必要となっています。
- あやべ桜が丘団地販売区画数が、403 区画となり、目標数値の 459 区画を指した取組が必要となっています。



計画推進のために

- この章では、第5次綾部市総合計画の推進のために必要な、開かれた市政の推進、効果的な行政運営、健全な財政運営、広域連携の推進について、計画を定めています。
- 4項目のうち、75%の3項目が、目標達成もしくは、順調に進捗となりました。
- 目標を達成した指標では、実質公債費比率が、13.4%となり、目標数値の18%未満を達成しました。
- コミュニティ FM 放送局行政情報提供件数が、年間1,122件となり、目標数値の1,100件を上回りました。



目標とする指標の進捗状況一覧

No.	部・局	基本施策	担当課	目標とする指標	区分	基準 (21)	目標 (27)	23実績	24実績	23評価	24評価	説明
1	1-1	人権尊重社会の実現	人権推進課	人権福祉センター各種講座参加者数	年間	6,019人	6,500人	5,801人	5,579人	★	★	講演会の開催（共催）回数の減少と参加者への広報の徹底不足と考えられるため、平成25年度から人権福祉センターだより（綾つむぎ）を全市組回覧にすることにより、広報の強化に努める。
2			社会教育課	全綾部市人研教育研究会参加者数	年間	747人	800人	705人	756人	★	★	今後も内容の充実を図る必要がある。人権協が目指すところがふれることなく、加えて、市民の方が「人権」について考えたり、自分自身の差別意識に向き合ったりできるものになりたい。
3			社会教育課	人権を考えるセミナー参加者数	年間	857人	1,000人	1,023人	1,141人	★★★★	★★★★	目標を達成できた。
4			社会教育課	人権教育講演会参加者数	年間	438人	450人	0人	436人	評価対象外	★	2月の人権教育講演会は市民に定着しており、毎年目標値に近い参加者数がある。共催団体である人権協と協力し、より多くの市民の方に参加していただけるものになりたい。
5			社会教育課	公民館人権研修参加者数	年間	1,158人	1,300人	1,369人	1,485人	★★★★	★★★★	目標を達成できた。
6	1-2	市民活動の促進	市民協働課	自治会加入世帯率	—	83%	85%	82.0%	82.0%	★	★	自治会の活性化に向け、引き続き、コミュニティ活動、まちづくり活動などに対し、補助金の交付などによりその活動の支援を行う。
7			市民協働課	コミュニティ助成事業数	年間	9件	15件	4件	9件	★	★	自治会等が利用しやすいように要綱改正を行い、ハード事業について経費下限を引き下げるとともに、補助金上限の増額を行った。今後も積極的に自治会等に対し、制度のPRを行う。
8			市民協働課	ボランティア総合センター登録団体数	累計	92団体	100団体	103団体	108団体	★★★★	★★★★	目標を達成できた。
9			市民協働課	ボランティア総合センター登録団体会員数	累計	2,350人	2,600人	2,669人	2,926人	★★★★	★★★★	目標を達成できた。
10			市民協働課	ハートセンター利用件数	年間	372件	420件	461件	427件	★★★★	★★★★	目標を達成できた。
11	1-3	男女共同参画社会の実現	人権推進課	審議会・委員会等における女性委員の比率	—	28.8%	40.0%	27.5%	30.5%	★	★	役職による任用、団体からの推薦については、女性が選出されることが少ない状況にある。庁内各課において女性委員を積極的に登用し、女性委員の比率の向上を目指す。
12			人権推進課	男女共同参画講座参加者数	年間	316人	550人	617人	289人	★★★★	★	参加者の固定化が見られる。また、男性、若い年齢層の女性の参加は、まだ少ないので今後も呼びかけが必要である。
13	1-4	平和の発信と交流	秘書広報課	地球市民の集い参加者	年間	150人	200人	180人	180人	★★	★★	会場のキャパシティ（200人収容）からすると、ほぼ満席の状態であった。今後も多くの市民に参加してもらえよう工夫をしていく。身近で興味や関心が高まる内容にする。
14			秘書広報課	あやべ特別市民制度登録数	累計	820人	1,500人	1,323人	1,604人	★★	★★★★	目標を達成できた。
15			秘書広報課	綾部国際交流協会日本語教室等参加者数	年間	765人	900人	833人	720人	★★	★	市内で外国人を雇用していた事業所の閉鎖や外国人就業者の採用を控える就労状況が影響を及ぼしていると考えられる。口コミによる伝播が実効あるという実情に照らし、参加しやすい条件づくりに努める。
2-1	幼児教育の充実			なし								
16	2-2	学校教育の充実	学校教育課	小学校耐震化率	—	71%	100%	92%	92%	★★	★★	耐震補強を必要とする小学校の耐震化を進める。
17			学校教育課	中学校耐震化率	—	48%	76%	68%	75%	★★	★★	何北中学校2棟について耐震化工事を実施。耐震補強を必要とする中学校の耐震化を進める。
18			社会教育課	高齢者学級参加者数	年間	5,118人	5,200人	4,434人	4,243人	★	★	老人クラブの加入会員の減少に伴い高齢者学級の参加者も減少傾向にある。老人クラブとの連携も図りながら、クラブ会員以外にも広く参加を呼び掛けていく。
19			社会教育課	障害者教室参加者数	年間	390人	400人	390人	410人	★	★★★★	目標を達成できた。

目標とする指標の進捗状況一覧

No.	部・局	基本施策	担当課	目標とする指標	区分	基準 (21)	目標 (27)	23実績	24実績	23評価	24評価	説明
20	2-3	社会教育の充実	社会教育課	地区公民館利用件数	年間	3,709件	4,300件	3,813件	3,914件	★★	★	参加者の減少や自主サークルの高齢化等により、利用件数は減少傾向にある。既存の自主事業の充実や公民館サークルの活性化等により利用件数、利用者数の拡大を目指す。
21			社会教育課	地区公民館利用人数	年間	91,802人	93,000人	65,887人	65,905人	★	★	参加者の減少や自主サークルの高齢化等により減少傾向にある。既存の自主事業の充実や公民館サークルの活性化等により利用件数、利用者数の拡大を目指す。
22			社会教育課	中央公民館利用件数	年間	853件	900件	958件	885件	★★★	★★	指定管理者と連携し、貸館並びに自主事業の推進を図った。同様の手法により、利用件数を確保していく。
23			社会教育課	中央公民館利用人数	年間	34,221人	35,000人	31,119人	28,939人	★	★	各種講座の小規模化や貸館に伴う事業の参加者が減少したため、利用人数としては減少した。指定管理者と連携し、利用件数を確保する中で利用者数の増加を図る。
24			社会教育課	図書館貸出冊数	年間	149,604冊	156,000冊	166,688冊	164,623冊	★★★	★★★★	目標を達成できた。
25			社会教育課	図書館蔵書冊数	累計	70,227冊	82,500冊	71,277冊	74,517冊	★★	★	建物の耐久性の問題により増やしていくことは困難なため、府立図書館へ移管することや他館にあるもので古い図書については適宜廃棄するなどして新しくものを購入するなどしていく。ただ、貸出冊数を増やすことで、蔵書として館内に置く冊数に限界はあるが、トータルは増やすことになるので、利用者拡大を図る。
26	2-4	青少年健全育成の推進	社会教育課	一斉声かけ参加者数	年間	1,117人	1,300人	1,131人	997人	★★	★	子ども達への声かけや見守りの機運を高めるため、参加へのきっかけづくりの事業として、より多くの参加者が得られるよう育成協賛団体等にさらに呼び掛けしていく。
27			社会教育課	夏の大ジャンボリー参加児童数	年間	110人	110人	92人	85人	★	★	子ども達の体験活動の場として、内容の充実を図るとともに、各小学校とさらに連携し参加者の拡大を目指す。
28			社会教育課	青少年地域活動支援事業登録団体数	累計	35団体	50団体	38団体	37団体	★★	★	少子化により子ども会も減少傾向にある中、2自治会合同で活動する団体もあり、申請団体数としてはやや減少した。子ども達の体験活動の充実を図るため、さらに多くの子ども会等に周知を図り活用を促すとともに、説明会を通して、活動内容の充実を図る。
29	2-5	文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	市美術展作品出展数	年間	313点	320点	282点	282点	★	★	文化協会が実施する初心者文化講座を積極的に支援するとともに、前年度出品者へのダイレクトメールの発送、美術用具店等へのPRに努めるとともに、近隣市町の高校、大学へのPRにも取り組む。
30			文化・スポーツ振興課	市美術展入場者数	年間	1,242人	1,370人	1,180人	1,233人	★	★	市広報紙、エフエム、オフトーク等によるPRを行うとともに、今後さらに近隣市町へのPRに努める。
31			文化・スポーツ振興課	総合文化祭作品出展数	年間	1,457点	1,500点	1,406点	1,405点	★	★	初心者文化講座のPRや文化祭開催を広報紙に掲載するなど市として積極的に支援を行う。
32			文化・スポーツ振興課	総合文化祭入場者数	年間	5,172人	5,200人	4,917人	5,085人	★	★	文化祭開催を広報紙に掲載するなど市として積極的に支援を行う。
33			文化・スポーツ振興課	優良建築物活用事業利用件数	年間	20件	25件	15件	23件	★	★★	施設の利用希望が春、秋に集中するため、夏、冬の利用促進策を検討する。
34			文化・スポーツ振興課	中丹文化会館入場者数	年間	54,248人	60,000人	54,236人	55,325人	★	★	中丹文化会館で開催されたイベントの集客力による。中丹文化会館で開催される事業について、市として積極的にPRに努める。
35			社会教育課	資料館利用者数	年間	8,026人	10,000人	8,029人	7,552人	★★	★	さらに創意工夫に満ちた講座や展示会を計画実施し、新しい利用者の獲得を図る。
36			社会教育課	天文館入館者数	年間	10,155人	10,200人	9,282人	10,480人	★	★★★★	目標を達成できた。
37			文化・スポーツ振興課	体育施設利用者数	年間	217,546人	233,000人	230,211人	225,702人	★★	★★	特に利用者が多いグラウンドゴルフは近隣の類似施設への分散が考えられる。施設利用のパンフレットを通して市外合併の誘致に努めるほか、体育協会や各競技団体と連携しながら大規模な大会誘致も視野に入れ、施設の活用促進を目指す。
38			文化・スポーツ振興課	府民総体参加者数	年間	1,533人	1,550人	1,558人	1,748人	★★★★	★★★★	目標を達成できた。

目標とする指標の進捗状況一覧

No.	部・局	基本施策	担当課	目標とする指標	区分	基準(21)	目標(27)	23実績	24実績	23評価	24評価	説明
39	2-6	スポーツの振興	文化・スポーツ振興課	(財)綾部市体育協会会員数	年間	3,598人	3,650人	3,433人	3,200人	★	★	各競技における競技者の高齢化が進行したなどにより全体の競技者人口減少につながっていると考えられる。競技力向上だけでなく、市民がいつでもどこでもだれでも気軽に始められるスポーツ・レクリエーション教室や軽スポーツなどを検討していく必要がある。
40			文化・スポーツ振興課	スポーツ少年団加入率	—	18.1%	20.0%	24.5%	23.4%	★★★★	★★★★	目標を達成できた。
41			文化・スポーツ振興課	チャレンジ参加率	—	42.9%	50.0%	41.6%	30.6%	★	★	これまでのチャレンジデーをリニューアルし、誰でも参加しやすく運動を身近なものにするため、チャレンジウィークに取組み、実施期間を1週間に延長して実施した。期間中におけるスポーツイベントを継続し、チャレンジウィークを通じて市民が年間を通じて継続的に運動に取り組める機会づくりに取り組んでいきたい。
42			文化・スポーツ振興課	市民駅伝参加者数	年間	559人	570人	722人	799人	★★★★	★★★★	目標を達成できた。
43			文化・スポーツ振興課	二王門登山レース参加者数	年間	877人	1,000人	835人	874人	★	★	申し込み人数は過去最高を更新したが、当日の参加人数が申し込み人数に対して例年よりも減少した。申込者数は増加していることから参加人数も増加につながるものと考えている。他府県からの参加もあり、スポーツ観光を視野に入れながらリピーター獲得につなげる取り組みを検討したい。
44			文化・スポーツ振興課	里山サイクリング参加者数	年間	355人	500人	382人	549人	★★	★★★★	目標を達成できた。
45	3-1	子育て環境の充実	民生児童課	児童館・児童センター利用児童数	年間	12,814人	13,000人	15,219人	14,142人	★★★★	★★★★	目標を達成できた。
46			民生児童課	保育所充足率	—	111.7%	100%	100.3%	103.9%	★★	★★	市街地や新興住宅地等に近い保育所においては定員を上回る入所となる。引き続き、各保育所と連携しながら、園児の募集やPRを実施していく。
47			民生児童課	幼児園充足率	—	105.5%	100%	113.7%	112.4%	★	★	市街地や新興住宅地等に近い幼児園においては定員を上回る入園となる。引き続き、各幼児園と連携しながら、園児の募集やPRを実施していく。
48			民生児童課	幼児発達サポート事業参加率	—	99.6%	100%	98.9%	99.6%	★	★	綾部市としての事業のスタイルは確立しているが、事後支援の充実を図ることが必要。事後支援を充実させて、園および保護者支援の受け皿を増やすことを計画していく。
49	3-2	高齢者福祉の推進	高齢者介護課	高齢者配食サービス登録者数	累計	376人	400人	473人	509人	★★★★	★★★★	目標を達成できた。
50			高齢者介護課	認知症サポーター養成講座受講者数	累計	2,503人	4,500人	5,603人	6,606人	★★★★	★★★★	目標を達成できた。
51			高齢者介護課	地域密着型サービス施設数	累計	5施設	16施設	12施設	15施設	★★	★★	国・府補助制度の活用により、社会福祉法人等が行う施設整備を支援し、目標達成を目指す。
52			高齢者介護課	老人福祉センター清山荘入館者数	年間	23,618人	27,000人	22,327人	24,723人	★	★	カラオケ大会、グラウンドゴルフ大会、囲碁大会等の自主事業も実施し、前年度に比較し利用者数が増加した。指定管理者と連携し入館者数の増加を目指す。
53	3-3	障害者福祉の推進	福祉課	障害者介護給付費等支給事業利用者数	年間	3,448人	4,500人	3,901人	4,149人	★★	★★	必要人に必要なサービスが提供できるよう相談支援を基本とし丁寧な支援を継続するとともに、障害福祉サービス事業所の開設について積極的に支援をしていく。
54			福祉課	地域活動支援センター利用者数	年間	1,330人	1,600人	1,275人	1,460人	★	★★	若年層や知的、精神障害者などにも利用しやすい場所とするよう引き続き内容の工夫をしていきたい。
55			福祉課	精神障害者社会復帰相談者数	年間	1,653人	2,000人	1,831人	1,810人	★★	★★	精神疾患患者の増加や高次脳機能障害・発達障害などに対応するため、更なるスキルアップを図る。
56			福祉課	障害者生活支援事業相談件数	年間	7,645件	9,000件	7,723件	7,806件	★★	★	きめ細かく丁寧に支援をしているが、1名の相談支援従事者で対応しており、物理的に限界にきている。相談支援を必要としている人はまだまだあり、障害者生活支援センターの機能強化について検討する。

目標とする指標の進捗状況一覧

No.	部・局	基本施策	担当課	目標とする指標	区分	基準(21)	目標(27)	23実績	24実績	23評価	24評価	説明
57	3-4	地域福祉社会の実現	民生児童課	シルバー・チャイルドハウス事業実施団体数	累計	7か所	9か所	7か所	7か所	★	★	少子化・過疎化により、参加者やボランティアの確保が困難になってきている現状にあり、こうした状況の中、どのような運営をしていけばよいのかといった心配がある。今後も、関係団体等との連携を図りながら、市内全域を対象にした実施を目指していく。
58			高齢者介護課	地域福祉活動補助金交付件数	年間	30件	35件	26件	29件	★	★	5グループが一つのグループにまとまったことにより、グループの総数が減少したが、新規のグループは着実に増加している。今後も社会福祉協議会等と連携しグループ数の増加を目指す。
59	3-5	保健の推進	保健推進課	ウォーキングイベント参加者数	年間	582人	600人	476人	333人	★	★	向日市交流も同時実施で24年度はイベントとしては1回の開催であったので、参加者は減。開催日が地域の行事などとかきならないようにしたり、コースなど検討する。
60			保健推進課	乳幼児健康診査受診率	—	95.6%	97.0%	96.7%	97.0%	★★	★★★★	目標を達成できた。
61			保健推進課	特定健康診査受診率	—	24%	65%	23%	25%	★	★	健診の必要性が浸透していない。未受診者の内容の把握に努める。
62			保健推進課	がん検診受診率	—	14.9%	30%	17%	16%	★★	★	健診の必要性が浸透していない。未受診者の内容の把握に努める。
63			保健推進課	健康相談指導人数	年間	4,461人	5,000人	3,591人	4,175人	★	★	参加しやすい場所、日時、テーマなどの設定に努める。
64			保健推進課	食育健康教育指導人数	年間	2,891人	3,000人	4,667人	2,770人	★★★★	★	参加しやすい場所、日時、テーマなどの設定に努める。
	3-6	医療体制の充実		なし								
65	3-7	社会保障の適正運営	市民・国保課	国民健康保険料収納率	—	94.76%	96.80%	94.71%	95.12%	★	★	京都府地方税機構の活用により、平成23年度より収納率は向上した。京都府地方税機構との連携を密にし、保険料収納の強化を図る。また、口座振替の推進をさらに図る。
66	4-1	農林業・内水面漁業の振興	農林課	農業後継者就農支援事業後継者数	累計	4人	10人	5人	5人	★★	★	就農に向けての研修中の方は確保できたが、24年度に就農開始した方がいなかった。就農開始される方の状況を把握し、支援を続けていく。
67			農林課	有害鳥獣被害面積	年間	13,416a	6,708a	6,589a	2,202a	★★★★	★★★★	目標を達成できた。
68			農林課	有害鳥獣防除施設対象面積	年間	46,000a	80,500a	132,577a	132,577a	★★★★	★★★★	目標を達成できた。
69			農林課	地産地消（朝市）参加生産グループ	年間	11団体	16団体	15団体	16団体	★★	★★★★	目標を達成できた。
70			農林課	間伐材運搬対策事業搬出量	年間	—	3,500㎡	3,240㎡	3,994㎡	★★	★★★★	目標を達成できた。
71			農林課	内水面漁業振興対策事業放流量	年間	2,936kg	3,000kg	2,460kg	2,264kg	★	★	府と市からの補助金が毎年、前年度の97%程度となっており、漁協にとっては、厳しい状況が続いているため、放流量を増やすことが難しい。限られた予算の中で、出来るだけ京都府の増産目標数に近づけるような放流計画を立てていく。
72			農林課	農業法人数	累計	11法人	15法人	15法人	17法人	★★★★	★★★★	目標を達成できた。
73			農林課	認定農業者数	累計	57人	62人	48人	47人	★	★	現時点では、農業改善計画を認定されてもメリットが少ないため、積極的に申請を希望される方が少ない。今後も新規就農者への働きかけを続けるとともに、政府方針により地域の中核的担い手への支援策が充実されることが予測されることから、今後の農業関連政策を注視する。
74			農林課	新規就農者数	累計	50人	60人	45人	45人	★	★	就農のためには地元で農業者として認められることが重要であり、このためには相当の準備・研修期間が必要である。京都府と連携し、担い手養成実践農場を展開することにより、新規就農者を支援していく。
75			観光交流課	里山交流研修センター施設利用者数	年間	6,687人	7,000人	7,097人	9,216人	★★★★	★★★★	目標を達成できた。

目標とする指標の進捗状況一覧

No.	部・所	基本施策	担当課	目標とする指標	区分	基準(21)	目標(27)	23実績	24実績	23評価	24評価	説明
76	4-2	農村の活性化	観光交流課	里山交流研修センター宿泊者数	年間	1,836人	2,000人	732人	969人	★	★	スポーツ合宿等の団体客の減少や農家民宿の新規開業に伴い里山交流研修センターの宿泊者数が減少している。市外への情報発信を強化することで、スポーツ合宿利用者等の確保に努める。
77			定住促進課	定住世帯数(定住サポート総合窓口扱い)	年間	15世帯	15世帯	30世帯	20世帯	★★★	★★★	目標を達成できた。
78			観光交流課	農村都市交流人口(受入数)	年間	2,527人	3,000人	1,836人	3,260人	★	★★★	目標を達成できた。
79	4-3	商業の振興	商工労政課	商店数	累計	514店	514店		514店	評価対象外	★★★	目標を達成できた。
80			商工労政課	商品販売額	年間	554億円	580億円		554億円	評価対象外	★	市内だけでなく、市外からの集客力を高めることが重要であり、集客促進に繋がる支援策の情報提供とともに、府、商工会議所などの関係機関と連携し、経営基盤面の支援を行う。
81			商工労政課	古民家等活用店舗件数	累計	15店	30店	17店	17店	★★	★	NPO法人綾部まちなかネット等と連携し、空き店舗情報の収集や情報提供を行うとともに、空き店舗支援事業のPRを行う。 また、町屋の魅力を広く情報発信し、商店街だけでなく市内商業の発展、まちなかにぎわいづくりに寄与している古民家を再生した店舗で組織する「あやべ町屋倶楽部」とも連携を図る。
82	4-4	工業の振興	商工労政課	綾部工業研修所事業受講者数	年間	33人	50人	29人	26人	★	★	長引く不況や海外生産へのシフトにより企業の新規雇用が大きくは伸びておらず、若年技術者も同様に伸びない中で、受講者数の確保は厳しくなってきている。関係機関と連携し、市内や近隣の企業へのピーアールに努める。
83			商工労政課	北部産業技術支援センター機械貸付件数(市内企業)	年間	171件	250件	455件	339件	★★★	★★★	目標を達成できた。
84			商工労政課	綾部市工業団地立地企業数	累計	9社	10社	9社	9社	★	★	引き続き積極的な企業誘致を展開するほか、既立地企業にも規模拡大による用地活用を呼びかけ、早期の分譲を目指す。
85			商工労政課	製造品出荷額等	年間	864億円	1,200億円			評価対象外	評価対象外	評価対象外
86			商工労政課	工場設置奨励金交付件数	年間	22件	25件	18件	16件	★	★	企業の生産活動が伸びない中で、円高や生産の海外シフト、利益率の低下など、新たな設備投資に資金を回せない企業が多い。平成25年度から、中小企業の対象要件を緩和し、活用しやすい制度に改めた。今後更にPRを進める。
87	4-5	観光交流の推進	観光交流課	日帰り観光客数	年間	360,221人	430,000人	383,386人	388,137人	★★	★★	観光振興協議会からの提言を具現化する中で、引き続き情報発信力の強化に努めるとともに、広域連携による観光振興やNHK大河ドラマ誘致活動に取り組むことで、市外からの観光誘客を図る。 また、京都府と府北部7市町で実施する「海の京都事業」や、平成25年度に整備予定の都市交流拠点施設を活用し、グンゼから大分へ至る街道を中心とした観光誘客を推進する。
88			観光交流課	宿泊観光客数	年間	62,519人	65,000人	61,823人	55,878人	★	★	市内の主要なホテル1軒が閉鎖されたことから対前年比で9.6%(5,945人)の減少となった。民間の会員制度を活用して、カンヌやサイクリングなどのイベントの情報提供を行うことで、宿泊客の増加を図る。
89	4-6	地元雇用の確保	商工労政課	就職フェア参加企業数	年間	21社	40社	20社	22社	★	★	景気の後退などによる影響はあるものの、地元企業にとっても雇用の確保は必要であることから、引き続き参加企業の意向に配慮し、綾部市雇用促進連絡会議の構成機関や他の関係機関との連携強化を図りながら、会場、開催曜日等の検討とともに参加者の拡大を進め、企業の参加しやすい環境整備と、積極的な参加呼びかけを行う。
90			商工労政課	就職フェア参加者数	年間	168人	200人	110人	85人	★	★	厳しい景況や雇用状況下ではあるが、求職者にとっては地元就職への重要な機会であり、参加企業の増加と業種、職種、職種の拡充等を推進することが必要である。また、情報発信についても、U・Iターンを含めた定住促進を見据え、情報が必要なお客に的確に伝達するため、就職情報等提供事業や関係機関とのネットワークの活用などの、情報提供を推進する。今後も、参加者のニーズを把握するとともに、関係機関との連携により、内容、情報提供等の充実を図る。

目標とする指標の進捗状況一覧

No.	部・局	基本施策	担当課	目標とする指標	区分	基準(21)	目標(27)	23実績	24実績	23評価	24評価	説明
91			商工労政課	綾部市勤労者住宅資金融資件数	累計	63件	70件	63件	63件	★	★	平成24年度から制度改正し、利率改定(2.55%から2.3%)、貸付上限額の引上げ(800万円から1,000万円)を行った。制度の利用促進を図るため、引き続き融資制度内容の見直しを検討するとともに、金融機関と連携し、広報、情報提供に努める。
92	5-1	環境の保全と創造	環境保全課	コスモス祭来場者数	年間	3,500人	3,500人	1,600人	2,200人	★	★	自治会の行事等日程が重ならないように開催日時を決定する必要がある。イベントとしては定着してきているので、内容を見直しなが引き続き継続していただきたい。
93			環境保全課	廃食油回収量	年間	6,920ℓ	7,000ℓ	6,168ℓ	6,882ℓ	★	★	拠点回収場所での回収方法等を更に試案し利用者が手軽に利用できるようにする必要がある。事業の啓発については、広報誌やFMいかる等を利用し引き続き取り組む。
94			環境保全課	環境講演会参加者数	年間	200人	300人	200人	160人	★	★	講演内容について、市民の身近な環境問題等にし、気軽に来場してもらいやすい内容に見直す必要がある。
95			環境保全課	BOD環境基準適合率	—	100%	100%	100%	96%	★★★★	★	基準値を超えた所は、その前後の測定においては基準値以下になっており、一時的な結果と考える。継続した測定により河川等の水質汚濁を監視し、水質の保全に努める。
96			環境保全課	上林川を美しくする会薙刈り等参加者数	年間	120人	120人	133人	124人	★★★★	★★★★	目標を達成できた。
97	5-2	廃棄物対策の推進	環境保全課	資源物(紙類)回収量	年間	1,326t	1,500t	1,302t	1,369t	★	★	リサイクル推進の呼びかけに努め、古紙回収用保管庫設置補助金をピーアールし、保管庫の設置により資源物(紙)回収量の増加に結び付けたい。
98			環境保全課	資源物(衣類)回収量	年間	24t	25t	29t	37t	★★★★	★★★★	目標を達成できた。
99			環境保全課	リサイクル推進員研修会参加率	—	63%	70%	63%	74%	★	★★★★	目標を達成できた。
100			環境保全課	可燃ごみ収集量	年間	7,081t	6,500t	6,678t	6,494t	★★	★★★★	目標を達成できた。
101			環境保全課	不燃ごみ収集量	年間	716t	650t	732t	693t	★	★	ごみ減量化及び再利用・再資源化の呼びかけにより、増減はあるものの減少傾向にある。引き続き、毎年5%のごみの減量化とごみの再利用・再資源化を推進していく。
102			環境保全課	1人当たりごみ排出量(家庭ごみ)	年間	222kg	200kg	217kg	206kg	★★	★★	ごみ減量化及び再利用・再資源化の呼びかけにより家庭系のごみが減少していることと、人口の減少により、1人当たりのごみ排出量(家庭ごみ)は減少している。引き続き、毎年5%のごみの減量化とごみの再利用・再資源化を推進していくことにより、1人当たりのごみ排出量(家庭ごみ)の減少を進める。
103			環境保全課	1人当たりごみ排出量(粗大ごみ)	年間	8kg	7kg	8kg	10kg	★	★	粗大ごみの排出量は横ばい傾向にあり、平成24年度は、対前年度比で増加した。高齢者の死亡や、その結果として空家の出現により、大量の粗大ごみが出る傾向にある。再利用を推進していくことにより、1人当たりのごみ排出量(粗大ごみ)の減少を進める。
104			環境保全課	1人当たり資源物回収量	年間	51kg	60kg	53kg	58kg	★★	★★	回収量は横ばい状態であるが、人口の減少により、1人当たりの資源物回収量は、増加した。ごみの再資源化を推進していくことにより、1人当たりの資源物回収量の増加を図る。
105			環境保全課	し尿処理量	年間	12,693㎏ℓ	8,701㎏ℓ	11,860㎏ℓ	10,833㎏ℓ	★★	★★	し尿処理量は毎年着実に減少しているが、水洗化の進捗状況や一部の簡易水洗化、また雨水侵入処等の自然現象による要因等により、減少傾向が若干鈍化する傾向もみられる。公共下水道を中心とする水洗化の進捗状況やその他の社会的な状況を勘案して、し尿処理の作業内容を総合的に検討し、更に効率化を推進する。
106			環境保全課	浄化槽汚泥処理量	年間	15,585㎏ℓ	18,501㎏ℓ	14,511㎏ℓ	15,874㎏ℓ	★	★	浄化槽汚泥の処理状況を把握・分析し、現状の処理行程を維持しながら老朽化して機能低下に陥っている脱水設備・焼却設備の早期の更新、改修を目指す。
107	5-3	上水道の安定供給	上水道課	水道普及率	—	97.3%	97.5%	97.4%	97.5%	★★	★★★★	目標を達成できた。
108			上水道課	上水道布設延長	年間	2,210m	2,500m	2,350m	2,634m	★★	★★★★	目標を達成できた。
109			上水道課	上水道新設延長	年間	324m	1,000m	1,689m	1,703m	★★★★	★★★★	目標を達成できた。

目標とする指標の進捗状況一覧

No.	部・局	基本施策	担当課	目標とする指標	区分	基準(21)	目標(27)	23実績	24実績	23評価	24評価	説明
110	5-4	下水道の整備促進	下水道課	水洗化人口	—	22,000人	26,100人	23,212人	24,744人	★★	★★	供用開始後3年を経過して、まだ接続していないところに対し接続を促す文書を郵送するとともに、事業所等については訪問対応も行うなど接続依頼を行う。一般家庭については、排水設備等資金融資あっせん制度の利用などによる水洗化を促進する。
111			下水道課	汚水処理人口普及率	—	59.3%	70.0%	64.3%	68.6%	★★	★★	公共下水道事業や農業集落排水事業については、整備計画に基づき水洗化を推進する。近年整備希望者が減少傾向にある特定地域生活排水整備事業については、対象者の実態把握を行い、新たな事業推進に向けた取組みを展開するなどにより普及率の向上を目指す。
112	5-5	防災対策の推進	総務課	自主防災組織数	累計	121組織	196組織	130組織	130組織	★★	★	自治会役員の高齢化や、自治会間の防災意識の差により新規設置が進みにくい状況にある。
113			都市建築課	木造住宅耐震診断補助実施数	年間	7件	15件	12件	23件	★★	★★★★	目標を達成できた。
114			都市建築課	木造住宅改修補助件数	年間	1件	10件	11件	15件	★★★★	★★★★	目標を達成できた。
115			建設課	災害時避難所整備実施箇所数	累計	3箇所	9箇所	4箇所	4箇所	★★	★	京都府との連携・調整に基づき事業を推進する。
116			建設課	急傾斜地崩壊対策事業新規実施地区数	累計	—	5地区	1地区	1地区	★★	★	京都府との連携・調整に基づき事業を推進する。
117			総務課	防災座談会等の開催数	年間	21回	25回	21回	37回	★	★★★★	目標を達成できた。
118	5-6	消防・救急体制の充実	消防本部	各訓練・行事参加消防団員数	年間	4,163人	4,400人	4,210人	4,690人	★★	★★★★	目標を達成できた。
119			消防本部	訓練実施事業所・自治会数	年間	66カ所	100カ所	44カ所	48カ所	★	★	訓練実施回数の少ない事業所等に対して、定期査察等の機会をとらえ積極的な訓練の実施について指導する。また、市民と接する機会や春・秋の火災予防週間の広報等とあわせ、地域での防火や防災の訓練実施を呼びかける。
120			消防本部	訓練参加者数	年間	4,783人	5,500人	4,802人	4,867人	★★	★	事業所については、自衛消防隊の関係者だけでなく、他の従業員や関係者以外にも可能な範囲で利用者の訓練参加を呼びかける。
121			消防本部	防火座談会参加者数	年間	539人	800人	323人	239人	★	★	住宅用火災警報器の設置率が低い自治会等に対して、防火意識の高揚を図るため、積極的に防火座談会の実施等を呼びかける。
122			消防本部	救命講習受講者数	累計	7,571人	12,000人	8,763人	9,558人	★★	★★	小学校5、6年生を対象にしたジュニア救命や短時間の「入門コース」を契機とし、新たに取り組んでいるWeb講習を活用し、新たな団体(グループ)対象に受講者数の拡大を目指す。
123	5-7	生活の安全性の向上	市民協働課	交通安全啓発活動参加者数	年間	580人	620人	520人	670人	★	★★★★	目標を達成できた。
124			市民協働課	防犯啓発活動参加者数	年間	600人	640人	540人	690人	★	★★★★	目標を達成できた。
125			商工労政課	消費生活出前講座受講者数	年間	193人	250人	1,101人	508人	★★★★	★★★★	目標を達成できた。
126			商工労政課	消費生活相談件数	年間	96件	85件	105件	115件	★	★	啓発活動を強化するとともに、複雑化する悪質商法の被害にあわないため、出前講座等を実施する。
127			商工労政課	多重債務相談件数	年間	18件	12件	11件	5件	★★★★	★★★★	目標を達成できた。
6-1	市街地の形成			なし								
128	6-2	住環境の整備	定住促進課	あやべ桜が丘団地販売区画数	累計	386区画	459区画	398区画	403区画	★★	★	消費増税時の住宅購入に対する負担軽減策も発表されたが、増税前の駆け込み需要を見据え、ハウスパーク運営協議会と連携し、新たな顧客獲得に向けた販売戦略を検討する。

目標とする指標の進捗状況一覧

No.	策・節	基本施策	担当課	目標とする指標	区分	基準(21)	目標(27)	23実績	24実績	23評価	24評価	説明
129	6-3	道路の整備	建設課	市道舗装率	—	91.0%	92.0%	91.2%	91.3%	★★	★	目標達成に向け未舗装道を舗装するが、未舗装道の新規市道認定もあり、舗装率が上がらない。予算の範囲内で、市道管理上必要な改良、修繕、舗装などについて優先順位を決定し実施する。
130			市民協働課	あやバス乗車人数	年間	238,012人	245,000人	237,166人	227,494人	★	★	平成25年度から利用者の意見を基にしたタイヤ改正を行うとともに、京都大学大学院工学研究科などで組織する「バス交通活性化支援グループ」による「バス交通活性化支援事業」において、現在のあやバスの利用状況の調査を行い、利用促進事業を実施しバス利用者数の増加を目指す。
131	6-4	公共交通の充実	市民協働課	鉄道利用通学費補助金利用者数	年間	27人	50人	48人	62人	★★	★★★★	目標を達成できた。
132			市民協働課	あいトレイン参加者数	年間	90人	100人	101人	101人	★★★★	★★★★	目標を達成できた。
133	6-5	公園・緑地空間の保全	都市建築課	都市公園の1人当たり面積	—	17㎡	18㎡	18㎡	19㎡	★★★★	★★★★	目標を達成できた。
134			環境保全課	斎場使用件数（告別式）	年間	175件	190件	203件	184件	★★★★	★★	人口減少に伴い火葬件数の減少は見込まれる、今後は家族葬など小規模な葬儀が増加する傾向にある。斎場(告別式)は横ばい減少傾向になるが継続的に使用され则认为。
135	6-6	斎場・墓地の適正管理	環境保全課	斎場使用件数（通 夜）	年間	93件	95件	137件	117件	★★★★	★★★★	目標を達成できた。
136	6-7	地域情報化の推進	秘書広報課	綾部市ホームページへのトップページアクセス件数	年間	397千件	420千件	325千件	293千件	★	★	スマートフォンなどが普及し、閲覧者がトップページを見ずに直接必要な記事を確認するようになったと思われる。また、選挙結果を別サイトで表示していたことも影響している。各課に内容充実を呼びかけるとともに、フェイスブックとの連携を図る。
137			秘書広報課	コミュニティFM放送局行政情報提供件数	年間	1,033件	1,100件	1,070件	1,122件	★★	★★★★	目標を達成できた。
138	0-1	開かれた市政の推進	総務課	情報公開・個人情報保護制度ウェブサイト情報数	年間	6,009件	8,000件	2,667件	3,299件	★	★	情報発信するということの必要性についての意識付け、情報内容の充実等、分かりやすい、タイミングの良い情報の質の向上といったものへ視点をシフトしていく必要があると考える。
139	0-2	効果的な行政運営		なし								
140	0-3	健全な財政運営	財政課	地方債発行額/地方債元金償還額（普通会計）	—	0.348	1.0未満	0.495	1.496	★★★★	★★	災害関連による緊急的な対応や将来における財政の健全な運営に向けて、第三セクター等改革推進債を活用し、土地開発公社の抜本的改革に取り組んだため、目標を達成することができなかった。身の丈にあった財政運営に努めるとともに、最小の経費で最大の効果が得られるよう、限られた財源の効率的、重点的配分を行う。
140			財政課	実質公債費比率	3ヵ年平均	20.6%	18.0%未満	14.8%	13.4%	★★★★	★★★★	目標を達成できた。
141	0-4	広域連携の推進		なし								